

# 令和5年度事業報告

少子高齢化や人口減少の急速な進行、地域社会の関係性の希薄化等を背景に、地域における支え合い機能が脆弱化する中、8050問題や社会的孤立、虐待、貧困の世代間連鎖など、従来の福祉制度の枠組みだけでは捉えきれない課題への対応が求められています。約4年にわたる新型コロナウイルス感染症の拡大・蔓延に続き、令和6年1月1日の能登半島地震の発生は、人々の生活に大きな影響を及ぼし、これまで以上に大規模災害への対応や災害復興に向けた取り組み、生活困窮者への支援をはじめとした福祉事業・活動の展開が必要となっております。

こうした情勢の中、本県においては、「とやま型地域共生社会」の実現に向け、住民自らが地域の福祉・生活課題を発見し、解決につなげることができる地域コミュニティの形成が求められており、これらの課題への対応として福祉施設・団体、関係機関、専門職、住民、行政等が連携・協働して解決に取り組むための包括的・重層的な支援体制を強固にしていくことが重要となっております。

本会としては「ともに生き、ともに支え合う地域共生社会の実現」を理念とする強化発展計画に基づき、行政、市町村社協、民生委員・児童委員等社会福祉事業関係者等との連携・協働を図りながら次の基本目標のもとで各種事業を実施しました。

## 【理念】 「ともに生き、ともに支え合う地域共生社会の実現」

基本目標1 「あらゆる福祉・生活課題に対応します」 : ニーズの把握、対応、解決

基本目標2 「自分らしい暮らしを支えます」 : 多様性・意思尊重、参加支援、役割づくり

基本目標3 「多様な機関をつなぎます」 : 協議の場づくり、多機関との連携・協働

基本目標4 「福祉に関わる人を増やします」 : 従事者・理解者・協力者・参加者の増加

本会が令和5年度において実施した取組みの概要は、次のとおりです。

- (1) 令和6年能登半島地震への対応として、市町村社協と協力し、県内外の災害ボランティアセンターへ人的支援を行うとともに、専門的福祉人材からなる災害派遣福祉チーム「富山DWA T」を避難所等に派遣しました。また地震で被災され、緊急・一時的な生活費を必要とする世帯に対し、生活福祉資金貸付制度の緊急小口資金特例貸付を実施しました。
- (2) 第70回富山県社会福祉大会や富山県社会福祉推進関係者交歓の集いを開催し、地域共生社会の実現に向けた意見交換等を行うとともに、社会福祉施設・団体正副会長会議並びに市町村社協や民生委員児童委員協議会との連携・協働、各種福祉団体への支援を行うなど福祉関係団体とのネットワークの構築を進めました。
- (3) 市町村社協等との協働による要支援者に対する地域総合福祉推進事業（ふれあいコミュニティ・ケアネット21）の展開や各種相談への対応、日常生活自立支援・就労支援等により住民主体の地域福祉を推進するとともに、コミュニティソーシャルワーク研修等を通じた個別課題と地域における生活課題への対応力強化を図りました。
- (4) 福祉人材の確保・定着を図るため、福祉のお仕事フェアの開催や福祉・介護職合同入職式の実施、介護福祉士及び保育士修学資金の貸与、福祉・介護職場の魅力を発信するイメージアップ動画の制作・配信、中学・高校への出前講座等を行いました。
- (5) 令和5年4月1日にとやま介護テクノロジー普及・推進センターを開所し、介護ロボットの展示、相談、貸出等を行うとともに、福祉施設・事業所を対象に、ICT導入支援研修、伴走支援、腰痛予防研修、介護テクノロジーを活用した先進的介護に関するシンポジウムを開催するなどICTや介護ロボットの導入・活用を推進しました。

## 【推進項目 1】

### 地域ニーズへの対応力向上と包括的な相談支援体制づくり

#### 取組項目 1 地域生活課題の把握と新たな活動やサービスの開発

##### (1) 福祉関係団体とのネットワーク構築

###### ① 社会福祉施設・団体正副会長連絡会議の開催

県段階の福祉関係団体の正副会長及び理事を対象とし、社会福祉を取り巻く情勢等に関する会議を開催

令和5年11月13日(月) 富山県民会館

テーマ「地域共生社会の実現に向けた福祉のまちづくりの取り組みについて」

参加者：20団体、23名

###### ② 富山県社会福祉推進関係者交歓の集いの開催

県内福祉関係者が一堂に会して、富山県民福祉基本計画(第三次改訂版)の目標「誰もが安心・幸せを感じる“ウェルビーイング”を目指すとやま型地域共生社会の実現」の構築に向け、情報交換等を行う。

令和5年4月27日(木) 富山県民会館

講演「地域共生社会具現化を目指す第3次富山県民福祉基本計画と重層的支援体制整備事業」

講師 富山県福祉カレッジ学長(富山県福祉推進顧問) 大橋 謙策 氏

参加者：80名

##### (2) 社協活動の推進に向けた市町村社協との協議

###### ① 市町村社協会長会議の開催

令和5年9月25日(月) 富山県民会館 出席者：23名

テーマ「市町村社会福祉協議会における『地域共生社会』の実現に向けた

令和5年度重点事業と課題について」

状況報告・情報交換等

###### ② 市町村社協専務・常務理事、事務局長会議の開催

令和6年2月29日(木) 富山県教育文化会館 出席者：32名

次年度予算及び事業説明・情報交換等

##### (3) 民生委員・児童委員との連携・協働

###### ① 富山県民生委員児童委員協議会の活動支援

民生委員・児童委員研修

- ・ 市町村・地区民生委員・児童委員会長研修

令和5年7月5日(水) ホテルグランテラス富山

基調講演「地域共生社会実現に向けた民生委員・児童委員の役割」

講師 同志社大学 名誉教授、富山県福祉カレッジ客員教授 上野谷 加代子 氏

基調講演、活動実践報告

参加者：159名

- ・ 主任児童委員・児童委員合同研修  
 令和5年8月21日（月） 富山県民会館  
 基調講演「ヤングケアラーの現状と支援の現在地～地域で出来る支援とは～」  
 講師 大阪公立大学大学院 准教授 濱島 淑恵 氏  
 基調講演、シンポジウム  
 参加者：428名
- ・ 民生委員・児童委員研修  
 令和5年10月2日（月） オーバード・ホール  
 基調講演「民生委員・児童委員活動における多職種連携・多機関協働」  
 講師 駒澤大学 文学部教授 川上 富雄 氏  
 基調講演、シンポジウム  
 参加者：328名
- ・ 新任民生委員・児童委員研修  
 （西部会場）  
 令和5年11月13日（月） 砺波市文化会館 参加者：329名  
 （東部会場）  
 令和5年11月14日（火） 富山県民会館 参加者：516名  
 講義Ⅰ「先輩民生委員からの活動報告」  
 講義Ⅱ「地域福祉の推進における民生委員・児童委員の役割」  
 講師 国際医療福祉大学 大学院教授 小林 雅彦 氏
- ・ 民生委員・児童委員課題別研修  
 （東部会場）  
 令和6年3月1日（金） ボルフアートとやま 参加者：103名  
 （西部会場）  
 令和6年3月4日（月） 高岡問屋センターエクール 参加者：45名  
 講義・演習「地域共生社会における民生委員・児童委員に期待される役割  
 ～事例学習を通して考える～」  
 講師 富山国際大学 子ども育成学部 教授 相山 馨 氏

## ② 民生委員・児童委員互助共励事業の実施

全国民生委員互助共励事業 79件、1,303,000円

## （4）福祉のまちづくり活動の推進

### ① 富山県民福祉推進会議の開催

令和5年8月18日（金） サンシップとやま

内容：令和4年度事業報告、令和5年度事業計画、

福祉のまちづくり推進に関する意見交換、福祉のまちづくり宣言採択

## （5）各種福祉団体への支援・協力

### ① 各種福祉団体の事務局受託（4団体）

富山県保育連絡協議会、富山県老人福祉施設協議会、富山県地域包括・在宅介護支援センター協議会、富山県ホームヘルパー協議会への支援

② 在宅心身障害児通園訓練事業への助成

③ 福祉団体活動等への支援

(6) 各種ニーズに対応した福祉総合相談体制の充実

① 難病相談・支援センター事業

ア 難病患者等に対する個別相談（専門医による相談含む）

- ・相談支援業務 実人数 414名、延人数 1,109名
- ・専門相談（神経難病・膠原病・リハビリ相談）4回 相談者：18名
- ・ピアサポーターによる相談 個別9回、交流会3回 相談者：延19名
- ・アドバイザー会議 5回

イ 難病患者に対する就労支援

- ・就労支援数 延人数 207名
- ・就労相談会（難病患者就職サポーター） 9回 14名

ウ 講演会、研修会等の開催（患者・家族・支援者等）

- ・疾患別講演会と交流会（会場：サンシップとやま 合計参加者：216名 録画配信：45名）  
令和5年5月～11月 合計7回

講義：「病態と治療の現状、日常生活の注意点について」等

疾患名：網膜色素変性症、後縦靭帯骨化症/黄色靭帯骨化症、クローン病、もやもや病  
ベーチェット病、筋萎縮性側索硬化症、ステロイド・免疫抑制剤について

- ・疾患別交流会（会場：サンシップとやま 合計参加者：55名）

令和5年5月～令和6年2月 合計10回

疾患名：全身性強皮症、多発性硬化症/視神経脊髄炎、サルコイドーシス、シェーグ  
レン症候群、重症筋無力症、球脊髄性筋萎縮症、皮膚筋炎/多発性筋炎

- ・ピアサポーター養成講座（応用編）

令和5年12月9日（土）（会場：サンシップとやま 参加者：13名）

講義：「セカンドオピニオンとは～地域連携室の役割～」

「フレイルを理解し予防するには」

- ・交流サロン&ミニセラピー（会場：サンシップとやま 合計参加者：47名）

令和5年4月～令和6年3月 合計7回

内容：交流カフェ5回、リース作り、クリスマス会

エ 情報の収集・提供

- ・難病患者の支援啓発事業

対象：医療・介護者をめざす学生 8か所 計715名

- ・「富山県難病相談・支援センター事業案内」の作成・配布

11,000部作成、難病医療費助成受給者及び厚生センターに配布

- ・「富山県難病相談・支援センターだより」の作成・配布

500部作成、関係機関及び全国の難病相談・支援センターに配布

- ・「小児慢性特定疾病児童等自立支援事業案内」の作成・配布

1,200部作成、小児慢性特定疾病医療費受給者に配布（富山市分を含む）

- ・「災害準備パンフレット」の増刷・配布

10,000部作成、難病医療費助成受給者等に配布

- ・地域支援 看護学校講義：2回

## オ 人材育成

### ・難病患者支援者（保健師）研修会

令和5年12月8日（金）（会場：サンシップとやま 参加者17名）

講義：「難病患者への支援における保健活動の役割と個別支援に求められる視点」

事例紹介及び事例検討：「神経難病患者支援」～在宅療養を望むALS患者への支援～

### ・難病患者等ホームヘルパー養成研修

令和6年1月31日（水）（会場：サンシップとやま 参加者：20名）

講義：「難病に関する基礎知識～神経難病の理解～」

「在宅難病患者の心理及び家族の理解」家族の立場から

講義・演習：「難病患者の支援に活かすコミュニケーション力」

事例検討：「在宅難病患者の支援の実際」

## ② 若年性認知症相談・支援センター事業

### ア 若年性認知症の人・家族等に対する個別相談、就労支援

・相談支援業務 実人数63名、延人数244名

### イ 支援者のための若年性認知症研修会及びネットワーク会議の開催

令和5年10月31日（火）（会場：サンシップとやま オンライン 参加者：62名）

講演：「若年性認知症の人と家族への支援について」

### ウ 若年性認知症の本人と家族の交流会

・家族交流会「おしゃべりサロン」（会場：サンシップとやま 合計参加者：32名）

令和5年4月～令和6年2月 合計6回

・本人交流会「なないろカフェ」（会場：サンシップとやま 合計参加者：18名）

令和5年5月～令和6年3月 合計4回

### エ 啓発普及活動

・「富山県若年性認知症相談・支援センター活動だより」の作成・発行

1,500部作成 行政、医療機関・就労関係機関等へ配布

・「相談・支援センターリーフレット」の増刷・配布

6,000部作成 イオン、マックスバリュ、日本生命県内営業所(2,675部)等へ配布

・センターの紹介パネルの作成 A2サイズ2枚

・「富山県認知症にやさしい地域づくりキャンペーン」における相談会・活動紹介

・関係機関での講義・事例検討助言：4回（参加者：143名）

・認知症疾患医療センター連携協議会出席：4回

協議会：にいかわ、高岡、谷野呉山病院、北陸病院

・ケア会議出席：1回

対象：職業評価を受けた若年性認知症患者

### オ 研修会等への参加

・支援コーディネーター研修：2回（初任者・フォローアップ オンライン）

・富山県認知症高齢者見守りネットワーク講演会

## ③ がん総合相談支援センター事業

### ア がん患者・家族等に対する個別相談、就労支援

・相談支援業務 実人数282名、延人数846名

### イ がんピアサポーター養成講座開催

・受講者：11名 修了者：11名

令和5年7月～令和6年2月 合計8回

内容：ピアサポーターとは何か、コミュニケーションスキル、子宮がん、肺がん  
胃がん、大腸がん、乳がん、就労、化学療法 など

ウ がんピアサポート活動

- ・がん患者・家族等の交流サロン 毎月第4土曜日 開催11回 参加者延べ109名
- ・グリーンケアの会 5回 参加者延べ43名
- ・AYA世代の交流サロン 4回 参加者延べ19名
- ・小児がんの親サロン 1回 参加者延べ6名
- ・県内がん診療連携拠点病院等でのピアサポート活動
  - 黒部市民病院 4回 富山県立中央病院 6回 富山大学附属病院 3回
  - 厚生連高岡病院 6回 市立砺波総合病院 6回 富山赤十字病院 5回
  - 高岡市民病院 5回 富山市民病院 6回 済生会高岡病院 3回
  - 富山労災病院 5回 厚生連滑川病院 2回 計51回
- ・「がん教育」の講師
  - 小学校(8校)、中学校(3校)、高等学校(3校)
  - 県立大学看護学部 } にピアサポーターを派遣

エ がんピアサポート活動支援

- ・がんピアサポーターフォローアップ研修会開催  
令和5年5月～令和6年3月 合計4回 110名参加  
前立腺がんについて、コミュニケーション力、放射線治療における生活上の注意など

オ 小児・AYA世代のがん講演会の開催

- ・令和5年10月14日(土) サンシップとやま 41名参加
  - ・公開トークセッション  
テーマ「知りたい・聴きたい がん患者さんの日常生活～がんになっても自分らしく～」
  - ・サポートブース 医療用ウィッグ、スキンケア用品紹介

カ がん診療連携拠点病院相談員との連携(情報交換会・研修会)

- ・情報交換会  
令和5年6月～令和6年2月 計4回 89名参加
- ・研修会  
令和5年12月2日(土) オンライン 67名参加  
講義「意思決定困難ながん患者の支援」

## 取組項目2 包括的支援体制の構築に向けた市町村社協の活動強化支援

### (1) 小地域(日常生活圏域)における住民主体の助け合い活動の拡充

#### ① 小地域福祉活動推進事業

- ア 地域総合福祉活動(ふれあい型・ケアネット型・融合型)事業  
旧小学校区等小地域をエリアとして行われる「ふれあいサロン」など福祉コミュニティ活動の振興と要支援者に対する見守りや生活支援活動への助成  
15市町村 264地区で実施

イ 地域総合福祉活動ケアネットセンター運営事業

15 市町村社協に対してコーディネート業務費用等を助成

ウ 地域総合福祉活動ケアネット活動支援事業

ケアネット型事業を実施する社協及び地区に対する助言・支援、ケアネット活動の普及啓発事業等

- ・ ケアネット活動普及啓発事業（各種会議や研修会、地区懇談会等でパンフレット配付）
- ・ ケアネットアドバイザー派遣事業の実施  
市町村社協及び地区社協で開催するケアネット活動に関する研修会への講師派遣等を行った。
- ・ ケアネット支援職員配置事業
- ・ ケアネット活動コーディネーター研修事業  
令和 5 年 9 月 13 日（水） 七美コミュニティセンター 参加者 23 名  
令和 5 年 9 月 14 日（木） 救急薬品市民交流プラザ 参加者 18 名  
個別事例や地域へのアセスメント、解決方法の検討など
- ・ 市町村ケアネットセンター連絡会  
令和 5 年 6 月 15 日（木） サンシップとやま 参加者：16 名  
地域総合福祉推進事業費補助金実施要領等の改正にかかる情報・意見交換  
令和 5 年 10 月 17 日（火） オンライン開催 参加者：15 名  
地域総合福祉推進事業費補助金実施要領等の改正説明、質疑応答
- ・ 富山県地域総合福祉ケアネット活動評価検討委員会  
令和 6 年 3 月 7 日（木） 富山県民会館  
ケアネット活動推進のための今年度の実施状況評価及び今後の取組課題や効果的実施方法等に関する協議を行った。
- ・ ケアネットチーム員・リーダー研修会の開催  
令和 5 年 9 月 20 日（水） サンシップとやま 参加者：171 名  
国の福祉施策や動向等に関する講義と見守りやサロン活動等についての実践報告をとおり、ケアネット活動の意義や課題等を共有した。

（2）地域における総合相談体制の構築

① 生活福祉資金（総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金）、臨時特例つなぎ資金の貸付

ア 生活福祉資金（総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金）、臨時特例つなぎ資金の貸付決定実績 298 件、66,589,792 円

イ 令和 6 年能登半島地震による緊急小口資金の特例貸付実績 113 件、15,250,000 円

ウ 生活福祉資金運営委員会の開催（委員 9 名、6 回）

エ 滞納世帯に対する生活状況に応じた償還指導と不良債権の整理（免除債権 12 件）

オ 生活福祉資金貸付事業担当職員研修の開催

令和 5 年 12 月 5 日（火） サンシップとやま 参加者：17 名

講義・演習「生活再建に向けた家計管理方法と聴き取り・助言のポイント」

講師 日本貸金業協会富山県支部 事務長 乙津 宏 氏

貸金業紛争解決センター相談受付課長 増尾 真由美 氏

カ 生活福祉資金貸付事業担当者連絡会の開催（2 回）

## ② 東部生活自立支援センター運営事業

- 富山県魚津総合庁舎内に設置した「富山県東部生活自立支援センター」において、県東部 8 市町村（魚津市、滑川市、黒部市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町）を対象に「自立相談支援事業」、「就労準備支援事業」及び「家計改善支援事業」を実施
- ア 新規相談受付件数：90 件（昨年度比：59 件減）、支援プラン策定件数：29 件（昨年度同数）、自立相談支援事業による就労支援対象者数：29 件（昨年度比：3 件増）
- イ 巡回相談及び出張相談の実施：毎月 1 回、8 市町村社協において巡回相談を行うとともに必要に応じて出張相談を実施した。
- ウ 就労準備支援事業の一環として、模擬面接、履歴書作成支援、健康維持とひきこもり防止を目的にウォーキング等の軽運動の機会を提供した。
- エ 富山県弁護士会との連携により毎月 1 回、法律相談を行うとともに、具体的な支援方法について助言をいただいた。
- オ 管轄地区 8 市町村で開催された民生委員児童委員協議会の会議等の場において、制度概要や当センターの活動を紹介し、生活困窮に関する相談事例の掘り起こしを行った。

## ③ 生活困窮者就労支援強化事業

- 就労支援体制を強化するため、相談支援員を配置し、相談支援業務を行った。
- また、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の受給者に対し、その後の生活状況を確認し、必要に応じて生活再建に向けたフォローアップ支援を行った。

## （3）市町村社協の基盤強化支援及び役職員の資質向上

### ① 地域福祉推進担当者会議の開催

- 市町村社協の地域福祉担当者を対象に情勢報告や今後の活動方針について協議
- 令和 5 年 5 月 26 日（金） ボルフアートとやま 参加者 54 名
- 事業説明 令和 5 年度地域福祉関係事業説明
- 情報交換 包括的な支援体制づくりに向けた取組み及び地域総合福祉推進事業費補助金交付要領等の見直し等について

### ② 市町村社協職員研修・支援事業

- ア 重層的支援体制整備事業移行支援研修会
- 令和 5 年 11 月 15 日（水） 富山県民会館 参加者：51 名
- 講義「地域共生社会実現に向けての社会福祉協議会の役割」
- 情報交換 包括的支援体制整備や経営基盤強化に向けた市町村社協の取組み等について
- イ 社会福祉協議会中堅職員研修会
- 令和 6 年 3 月 22 日（金） 富山県民会館 参加者：8 名
- 講義「社会福祉協議会の中堅職員に求められる役割」

### ③ 市町村社協巡回訪問支援

市町村社協を巡回訪問し、活動・組織強化に向けた課題集約や意見交換、情報提供・助言を行ったほか、「地域福祉活動計画」の改訂に取り組む市町村社協への職員派遣、各種研修会への講師派遣等を行った。

### ④ 市町村社協活動強化費助成事業

- 市町村地域福祉活動計画等の策定支援、市町村社協の総合力強化の取組み、地域生活課題解決に向けた資源開発等のための取組みへの支援
- ・地域福祉活動計画等策定事業 3 市町村社協（黒部市・小矢部市・朝日町）へ助成
  - ・市町村社協総合力強化事業 5 市町村社協（氷見市・滑川市・黒部市・砺波市・上市町）へ助成



### 取組項目3 意思決定支援のための体制づくり

#### (1) 身近な地域における権利擁護相談支援の推進

##### ① 日常生活自立支援事業を全市町村で実施

相談件数：20,947件、契約締結件数：新規74件

実利用件数：472件(令和5年度末現在)

##### ア 契約締結審査会の開催

令和5年4月～令和6年3月 合計8回開催

審査案件12件、日常生活自立支援事業利用者の支援に関する助言、契約内容の報告、日常生活自立支援事業報告、運営適正化委員会からの指摘事項に関する対応報告など

##### イ 生活支援員研修の開催

###### ・ 生活支援員基礎研修会の開催

令和5年8月2日(水) サンシップとやま 参加者：31名

###### ・ 生活支援員ステップアップ研修会の開催

令和5年11月7日(火) サンシップとやま 参加者：43名

講義・グループワーク

「精神障害の利用者への支援」

##### ウ 専門員研修の開催

令和5年9月29日(金) サンシップとやま 参加者：21名

講義・事例検討

「利用者の意思決定支援と専門員に求められる視点について」

##### エ 広報・啓発、調査研究の実施

###### ・ 富山県社会福祉士会 ぱあとなあ富山との共催により、「高齢者・障がい者の権利擁護のための出前講座」の開催(2か所)

###### ・ 全市町村社協を訪問し、利用者の状況確認、預金通帳及び関係書類の確認、事業に関する問題点・課題について調査実施

##### オ 成年後見制度利用促進研修会の開催

令和5年10月17日(火) サンシップとやま 参加者：22名

### 取組項目4 個別支援を通じた地域づくりを推進する専門職の育成

#### (1) 地域の特性や本人の強みを活かした支援の推進

##### ① コミュニティソーシャルワーク研修の開催

地域包括ケアとコミュニティソーシャルワーク研修

対象者 市町村社会福祉協議会職員、相談援助業務に従事する団体・施設の職員、包括的支援体制整備や地域福祉を担当する行政職員等

前期：令和5年10月19日(木)～20日(金)

後期：令和5年12月7日(木)～8日(金)

富山県民会館 修了者：29名

## 取組項目 5 社会福祉法人等との連携・協働の推進

### (1) 社会福祉法人連絡会の運営支援等

市町村社協が事務局を担う社会福祉法人連絡会や施設経営法人等と連携しながら実施されている事業の運営委員会に職員を派遣し、課題の把握や助言を行った。

### (2) 「地域協同」推進シンポジウムの開催

令和6年2月7日(水) 富山県農協会館 参加者：86名

富山農業協同中央会、富山県厚生農業協同組合連合会、富山県生活協同組合連合会、ワーカーズコープ富山地域福祉事業所、県社協の共同開催で、地域共生社会の実現を目指し共に活動することを目的に、共催団体が運営する在宅福祉サービス事業所や市町村社協が相互に活動報告を行い情報を交換するシンポジウムを実施した。

## **【推進項目 2】**

### **誰もが役割を持ち支え合う共生のまちづくり**

## 取組項目 1 多様な主体の参加とつながりづくりの促進

### (1) ボランティアセンターの機能強化と市民活動との連携・協働への支援

#### ① ボランティア活動拠点の整備

ア ボランティア交流サロンの使用状況(令和6年3月末現在)

利用団体数 565 団体、利用者数 1,867 名

イ ボランティアワークルームの利用状況

利用団体数 258 団体

#### ② 市町村ボランティアセンター活動事業への支援

地域課題、生活課題に対応する地域住民やボランティアの先駆的、自主的な活動を促進し、ボランティア活動の一層の振興を図るため、市町村社協に助成した。

(ボランティア養成・研修事業、広報・啓発事業、災害救援ボランティア活動支援事業、調査・研究事業、ボランティアセンター運営事業 15市町村 7,020千円助成)

#### ③ 市町村ボランティア活動コーディネーターの養成

市町村ボランティアコーディネーター研修会

令和5年6月2日(金) サンシップとやま 参加者：16名

講義「社会福祉協議会のボランティアコーディネーション」

ワークショップ「コロナ後の悩みの共有と解決策を考える」

#### ④ ボランティア活動コーディネーター設置事業

市町村ボランティア活動コーディネーターの設置助成(15市町村22名分)

#### ⑤ 県ボランティアセンターの運営

・運営委員会の開催

令和5年9月22日(金) サンシップとやま

・関係会議及び県内外研修等に参加及び講師出講(全社協、東海北陸ブロック社協、市町村社協、福祉関係学会等(オンライン含む))

## (2) 福祉のまちづくりの視点による市民活動団体等との連携・協働

### ① 「ボランティア活動強調月間事業」の実施協力

県内各市町村社協がボランティアフェスティバル等を開催

### ② ボランティアグループ活性化等発掘支援事業

あらゆる分野におけるボランティア活動の促進を図るため、先進的な活動等を行うボランティアグループ・団体に対して助成を行った。

9団体 1,300千円助成

## (3) 福祉教育・ボランティア学習の推進

### ① 福祉教育地域指定推進事業

学校と地域、市町村ボランティアセンター等が企画段階から協働し、地域の社会資源を活かした福祉教育・ボランティア体験学習を実施するため、13市町村社協(13か所)を指定・助成した。

### ② 福祉教育サポーター養成確保事業

身近な地域(地元)で、多様な団体、学校、地域が協働で取り組めるよう「福祉教育」に取り組む「福祉教育サポーター」の養成確保事業を立山町社協・朝日町社協で実施した。

### ③ 高校生介護等体験特別事業

県立桜井高校と県立氷見高校を指定し、介護体験やボランティア活動、介護講座等を行った。

## (4) 高齢者の生きがいづくりの推進

### ① 「全国健康福祉祭(ねんりんピック)」参加事業

ア 県内予選会の開催(18種目、合計2,360名参加)

イ 「第35回全国健康福祉祭えひめ大会(ねんりんピック愛顔のえひめ2023)

に県代表選手を派遣

令和5年10月28日(土)～31日(火)23種目 選手163名派遣(ほか本部委員11名)

美術展12点出品(選手団全体成績:団体4位、団体優秀賞2、個人3位2、7位1、美術展愛媛県知事賞1、銅賞1)

ウ 第21回富山県ねんりん美術展の開催

令和5年10月5日(木)～6日(金)富山県民会館美術館 6部門 44点展示 313名来場

### ② 情報誌(VITA)発行事業

中高年向け情報誌「VITA(ビタ)」の発行(年4回、各1,800部)

### ③ いきいき長寿大学開催事業

ア すこやか活動講座(富山会場100名、高岡会場74名、合計174名参加)

令和5年6月～12月 各会場6回 合計12回

内容:脳が若返る脳トレーニング、認知症、排尿障害と蓄尿障害、瑞龍寺の謎、温泉・サウナの健康づくりのための利用法、「天地人」の現場から

- イ 脳トレクラブ情報交換会（代表者会議）  
令和6年3月8日（金）富山県教育文化会館 11名参加  
内容：近況及び課題等、情報交換内容の報告、今後の交流会の在り方
- ウ 脳トレ問題集の発行（県内10脳トレクラブから問題提供、4回、計25,400部）

#### ④ いきいき友の会事業の運営

- 会員数（令和6年3月末現在） 個人3,183名、法人・団体31
- ア 個人会員サービス提供事業
  - ア) 情報誌発行事業  
情報誌「V I T A」の発行（年4回、計14,400部を会員に送付）  
別冊イベントニュースの発行（年4回、計14,400部を会員に送付）
  - イ) サービスカード発行事業  
会員証による割引サービスの実施（協力店103店舗、一覧を5,600部発行）
  - ウ) 友の会フェスティバル開催事業  
「第32回講演と演芸のつどい」の開催  
令和5年7月8日（土）オーバード・ホール 650名来場  
講演（経済アナリスト 森永卓郎）、落語（三遊亭楽生）、演芸（あずちか）
  - エ) 催事割引事業  
コンサート等のチケット割引サービス（24公演、472名利用）
  - オ) V I T A旅行会開催事業  
18企画を催行、58名参加
  - カ) 会員交流会事業  
自然観察会3回、67名参加（勝興寺20、ねいの里17、NHK30）  
美術鑑賞講座3回 56名参加  
パソコン教室（年賀状）1回 13名参加  
体験講座2回 12名（介護ロボット5、土人形7）
  - キ) 生きがいづくり普及推進員事業(会員による自主企画事業)  
委員9名、意見交換会1回  
ウエルビーイング講演会30名、ミニ門松づくり24名、山野草寄せ植え35名、  
宇奈月温泉街周辺探索15名
- イ 法人会員サービス提供事業  
31法人等に対し、年会費相当分の個人会員と同様の特典を付与。  
情報誌「V I T A」に企業名を掲載
- ウ 会員組織の強化  
既存V I T Aクラブ25の支援（クラブ一覧の発行、活動助成金の交付）  
クラブ主催の新規会員体験講座の開催（1クラブ、16名参加）

#### （5）高齢者の社会参加活動の促進

##### ① シニアタレント社会活動事業

- ア 養成研修会の開催  
令和6年2月21日（水） 富山県教育文化会館 39名参加（うち新規13名）
- イ 登録及び紹介  
シニアタレント222名（語り部含む）、シニアタレントグループ48

- ウ 連絡協議会の開催（委員 8 名、2 回）
- エ 世代間交流会（講師・出演：シニアタレント）への助成 17 件

## ② 元気高齢者の仲間づくり支援事業

- ア サークルの登録及び支援
  - 元気高齢者サークル 22、ねんりん健康運動推進クラブ 28、合計 50
- イ 情報提供及び相談業務（相談員 1 名配置、相談件数 150 件）
- ウ 県内のシニアサークルの紹介
  - ホームページに 600 サークルを掲載、サークル一覧の発行（年 4 回、計 21,800 部）
- エ 体験教室及び世代間交流会等の開催（各競技団体等へ助成）
  - 3 種目、3 回実施、計 186 名参加
- オ シニアサークル体験交流会の開催
  - サンシップとやま 55 名参加、富山県高岡文化ホール 32 名参加

## ③ エイジレス社会活動推進事業

- エイジレス社会リーダー養成塾の開催
  - 7 月から 11 月まで計 8 回 富山県民会館ほか 参加者 31 名（うち卒業生 19 名）
  - エイジレス社会づくりの社会的背景やニーズ、具体的な活動手法に係る講義など

## 取組項目 2 災害に備えた地域づくりと福祉支援体制の強化

### （1）災害時の要援護者支援・福祉救援の取り組みの充実

県民に幅広く、災害救援ボランティア活動の普及を図るため、ボランティアコーディネーター等が県総合防災訓練に参加した。

#### ① 災害救援ボランティア実地訓練

県総合防災訓練

令和 5 年 8 月 27 日（日） 高岡テクノドーム 参加者：6 名  
サンシップとやま 参加者：7 名

### （2）災害時のボランティア活動の展開支援

#### ① 災害救援ボランティアコーディネーター・リーダー養成研修会の開催

基礎コース 令和 5 年 7 月 6 日（木） サンシップとやま 参加者：17 名  
実践コース 令和 5 年 7 月 25 日（火） サンシップとやま 参加者：15 名

### （3）専門職等関係機関・団体との連携・協働

#### ① 市町村社協災害ネットワーク推進事業

災害時における県社協と県内社協の緊急連絡網及びメールによる緊急通報システムを整備

#### ② 災害福祉広域支援事業

富山県内外における災害時の福祉広域支援ネットワークの連携を図り、「富山県災害福祉広域支援ネットワーク協議会」の開催と、災害派遣福祉チーム員（富山DWA T）の登録者の養成及び研修を行うとともに、富山DWA Tの派遣のための備品等を整備した。

また、石川県からの派遣要請を受け、令和 6 年 1 月 1 日に発生した令和 6 年能登半島地震により被災された高齢者や障がい者など配慮が必要な方々が、一般避難所等で十分な福祉的

支援を受けられるよう、県内の専門的福祉人材からなる災害派遣福祉チーム「富山DWA T」を避難所等に派遣し、福祉的支援活動を行った。

- ア 「富山県災害福祉広域支援ネットワーク協議会」の開催  
令和6年3月28日(木) 富山県民会館 参加者:21名
- イ 「災害派遣福祉チーム員登録研修」の開催  
令和5年7月25日(火) テクノホール 参加者:35名  
【登録者】上記研修受講修了者35名を富山DWA Tに登録  
登録者数148名(令和5年度末)
- ウ 「災害派遣福祉チーム員フォローアップ研修」の開催  
令和5年12月4日(月) 富山県防災危機管理センター 参加者:53名
- エ 「災害派遣福祉チーム員派遣用物資等」の整備
- オ 石川県被災地域への「富山DWA T」派遣
  - ①1月12日(金)~31日(水)・2月1日(木)~16日(金)  
石川県七尾市立中島小学校内 一般避難所 常駐
  - ②3月1日(金)~16日(土)  
石川県七尾市内一般避難所(能登島生涯学習センター等)巡回  
(①、②あわせて4日間×3名×13クール 計39名派遣)

#### (4) 災害時における市町村社会福祉協議会への支援

- ・「令和5年7月豪雨災害」において、高岡市災害ボランティアセンターに応援職員を派遣
- ・「令和6年能登半島地震」において、高岡市災害ボランティアセンター、氷見市災害ボランティア・支えあいセンターに応援職員を派遣

### 【推進項目3】

#### 福祉人材の確保・育成・定着と福祉サービス事業者への支援

##### 取組項目1 福祉職場の魅力発信と福祉人材の確保

###### (1) マッチング支援強化による人材確保・定着

###### ① 福祉人材無料職業紹介事業

- ア 全社協・中央福祉人材センターとともに運営・管理を行う「福祉人材情報システム」(COOLシステム)及びホームページ「福祉のお仕事」を活用した求人・求職登録の促進と福祉の職場・資格、労働市場の動向等に関する情報の提供(保育分野を含む)
  - ・相談件数 3,894件(求人1,861件、求職2,033件)(前年度末3,598件)
  - ・登録求人件数 1,908件(前年度末2,160件)
  - ・登録求人数 3,633人(前年度末4,068人)
  - ・登録求職者数 717人(一般479人、学生238人)(前年度末749人)
  - ・職場見学者数 121人(前年度末204人)
  - ・職場体験者数 8人(前年度末6人)
  - ・紹介者数 144人(前年度末172人)
  - ・採用者数 125人(一般55人、学生70人)(前年度末152人)

イ 職業訓練受講者への求職登録案内

県技術専門学院や介護労働安定センター等による職業訓練（介護職員初任者研修、実務者研修、入門的研修）の場でセンターの紹介や求職登録案内を実施 9回 受講者 105名

② 福祉職場説明会の開催

開催日	内容	会場	参加者	参加法人
6月24日（土）	お仕事フェア【福祉・介護】	富山国際会議場	123名	86法人
6月25日（日）	お仕事フェア【児童・保育】	富山国際会議場	96名	52法人
11月9日（木）	ハローワーク魚津・滑川と合同開催	新川文化ホール	12名	7法人
11月24日（金）	ハローワーク砺波・小矢部と合同開催	砺波農村環境改善センター	31名	6法人
11月28日（火）	ハローワーク高岡と合同開催	ハローワーク高岡	17名	1法人
2月17日（土）	保育の就職準備フェア	富山国際会議場	—	18法人

④ 富山の介護職員募集案内冊子作成・配布事業

県内介護施設等の求人情報を掲載した冊子を作成、ハローワーク・書店等で配布  
掲載法人：記事広告 51法人、純広告 1法人  
作成部数：2,700部

⑤ 新任介護職員ネットワーク形成支援事業

ア 富山県福祉・介護職入職者合同入職式

令和5年4月27日（木） 富山県民会館

出席者 108名（内訳：入職者 78名、県福祉人材確保対策会議委員 15名、前年度の介護のがんばりすと 15名）

内容 激励のことば（富山県知事）、“初心”表明、  
講演「ようこそ、福祉へ！」  
交流研修会「自分を育てる言葉たち」

イ 新任介護職員フォローアップ研修

- ・介護技術編 4回 参加者合計 58名
- ・ストレスマネジメント編 4回 参加者合計 46名

⑥ 福祉・介護人材マッチング強化事業

ア キャリア支援専門員を2名配置（介護福祉士）

イ ハローワーク等との連携事業

ハローワーク 6か所（月1～2回）合計 90回  
福祉の仕事相談コーナー 相談合計 99件（前年度末 107件）  
（高岡 40、魚津 26、砺波 14、氷見 4、滑川 10、小矢部 5）

ハローワーク 5か所 合計 56回  
参加者合計 311名（前年度末 220名）  
介護の仕事就職支援セミナー（高岡 12回 78名、魚津 11回 43名、砺波 11回 78名、滑川 12回 57名、氷見 10回 55名）

合計 9回  
参加者合計 22名（前年度末 15名）

ウ 求人・求職者情報の提供

登録求職者向けに求人情報誌を毎月送付（12回、814部発行）

福祉人材情報システムを利用した事業所向けのスカウトサービス 23件

エ 移住希望者への相談・求人情報の提供

富山県移住・就職フェアに相談ブースを出展し、事業所紹介や就職相談等に対応

- ・第1回 令和5年7月29日(土) 東京交通会館 相談件数3件
- ・第2回 令和5年11月19日(日) 東京交通会館 相談件数7件

⑦ 人材確保相談事業

- ・富山市主催の介護職場の就職説明会 相談ブース出展4回(5/24, 7/26, 9/26, 11/21)
- ・事業所訪問 17か所(内訳:職業訓練校9か所、事業所訪問8か所)

⑧ 民間福祉・介護事業所の人材確保に関するアンケート調査の実施

対象 1,423事業所、回答 723か所、回答率 50.8%

内容:職員数、保有資格数、入職者数、離職者数、離職理由、外国人材雇用者数、職場環境、キャリアアップ、など

⑨ 富山県出身の福祉系学部・学科学生等の求職登録促進

県外学生:東海・北陸・新潟・長野県ほか合計33校、登録者15人(前年度:30人)

県内学生:県内養成6校、登録者199人(前年度:270人)

⑩ 保育士・保育所支援センター設置・運営事業

ア センターの運営と啓発

i) 専門相談員の配置

- ・再就職支援コーディネーター1名(保育士)

ii) 啓発

- ・業務案内リーフレットの作成2,000部(保育所、ハローワーク等に送付)
- ・ポスターの作成500部(子育て支援センター、小児科医院、商業施設、養成校等に送付)

イ 相談業務と就職あっせん

- ・相談件数 1,175件(求人840件、求職335件)(前年度末2,304件)
- ・登録求人件数 760件(前年度末982件)
- ・登録求人数 1,341人(前年度末1,809人)
- ・登録求職者数 224人(一般91人、学生133人)(前年度末258人)
- ・スカウトサービス 指名件数4件(前年度末4件)
- ・職場見学者数 32人(前年度末91人)
- ・紹介者数 52人(前年度末110人)
- ・採用者数 47人(一般10人、学生37人)(前年度末103人)

ウ 再就職支援研修会

i) 保育所(園)・認定こども園等における雇用管理と人材育成・定着セミナー

令和5年11月30日(木)・12月1日(金) サンシップとやま

参加者:理事長・園長等 13名

⑪ 働きやすい職場づくりのための取り組みの推進

ア 独立行政法人福祉医療機構退職手当共済事業の事務受託

イ 社会福祉法人福利厚生センター(通称:ソウェルクラブ)受託事業の実施

ソウェルクラブ富山県事務局として、民間社会福祉事業従事者を対象にソウェルクラブへの加入促進、福利厚生サービスの充実、会員同士の交流やリフレッシュを目的とした各種事業を実施



(2) 幅広い層に向けた魅力発信

① 親子夏休み福祉の仕事バス教室

開催日	開催地区	会場	参加者
8月2日(水)	東部会場①	特養1か所	6名
8月7日(月)	東部会場②	特養2か所	18名
8月18日(金)	西部会場	特養2か所	24名
合計			48名

② 高校生等の福祉の魅力体験バス教室

開催日	開催地区	会場	参加者
7月26日(水)	富山会場①	特養4か所	18名
8月23日(水)	富山会場②	特養2か所 (中止1カ所*)	9名
8月1日(火)	高岡会場①	特養1か所	4名
8月4日(金)	高岡会場②	特養4か所	17名
8月9日(水)	高岡会場③	特養2か所 (中止1カ所*)	5名
8月23日(水)	高岡会場④	特養1か所	5名
合計			58名

\*感染症拡大による中止に伴う不参加(8名)

参加者の進路先 3年生22名中 福祉・医療分野への進学及び就職者 20名

③ 中学・高校生への介護の出前講座事業

ア 総合受付窓口の設置

中学・高校の出前講座の受付、調整

イ 中学・高校への介護の出前講座(富山県介護福祉士会及び介護福祉士養成校に委託)

・中学校への出前講座 6~2月 延べ12校 820名受講(昨年度比:297名減)

・高校への出前講座 6~2月 延べ14校 221名受講(昨年度比:56名減)

④ がんばる介護職員応援事業

ア がんばる介護職員の表彰(通称:介護の中堅職員ががんばりすと2023)

・対象 勤続5年以上12年未満、新人の指導役、介護福祉士、所定の研修修了者

・被表彰者 21名(19法人)

・表彰式 令和5年11月4日(土) ファボーレ太陽の広場

イ 被表彰者のコメント掲載パンフレットの作成・配付 2,000部

ウ 高校生向け冊子による介護の魅力PR

高校1年生向けに作成・配付される「福祉のガイド本」に受賞者手記等を掲載し、介護の魅力ややりがいを紹介

エ イメージアップ動画の制作・配信

福祉・介護の仕事の魅力ややりがいを中学生、高校生及びその親世代を中心に広く訴えるために、SNS(YouTube、LINE、Instagram、TikTok 広告等)を活用してイメージアップ動画を配信

・令和5年6月~8月 プロポーザル実施、3種「県内養成校出身者編」、「介護福祉士編」、「介護の日フェスティバル編」の動画制作

・令和5年9月~令和6年2月 動画配信 13,615,619回

### (3) 多様な人材の参入促進・すそ野拡大

#### ① 離職介護人材の届出制度等の活用推進

離職した介護人材や保育士の当センターへの届出を広く周知し、再就職準備金の活用等を通じて就職を支援

- ・ポスター、リーフレットの配布、「福祉とやま」への掲載等
- ・新規届出件数 73 件（介護 48 件、保育 25 件）
- ・有効届出件数 770 件（介護 348 件、保育 422 件）

#### ② 介護助手等マッチング支援事業

ア 介護助手等普及推進員の配置 1 名（介護福祉士・介護支援専門員）

イ 希望者の掘り起こしと求職登録の働きかけ（つどいの場等への訪問 67 回）

ウ 介護助手にかかる求人登録の働きかけ（事業所等訪問 63 回）

エ 啓発

- ・募集チラシの作成 2,040 部（地区センター・行政センター、関係機関等に送付）

オ 相談業務と就職あっせん

- ・相談件数 649 件（求人 217 件、求職 432 件）（前年度末 360 件）
- ・登録求人件数 47 件（前年度末 26 件）
- ・登録求人数 80 人（前年度末 53 人）
- ・登録求職者数 72 人（前年度末 33 人）
- ・紹介者数 19 人（前年度末 11 人）
- ・採用者数 18 人（前年度末 9 人）

#### ③ 富山県福祉人材確保対策会議事務局

福祉人材確保の取り組み等について協議

開催日	会議名	会場
8 月 1 日（火）	第 1 回ワーキンググループ	県民会館
8 月 1 日（火）	外国人介護人材マッチング等支援ワーキンググループ	県民会館
9 月 5 日（火）	第 1 回福祉人材確保対策会議	県民会館
2 月 27 日（火）	第 2 回ワーキンググループ	県民会館
3 月 27 日（水）	第 2 回福祉人材確保対策会議	県民会館

#### ④ 介護福祉士修学資金等貸付事業

ア 介護福祉士等修学資金 申込 21 件、決定 21 件、累計 422 件

実務者研修枠 申込 4 件、決定 4 件、累計 44 件

内定制度（令和 6 年度入学者）申込 12 件、決定 12 件

イ 離職介護人材就職準備金

介護業務に再就職する人に対する就職準備金の貸付け

申込 12 件、決定 12 件、累計 104 件

ウ 介護分野就職支援金

介護分野に初めて転職する人に対する就職準備金の貸付け

申込 13 件、決定 13 件、累計 61 件

エ 障害福祉分野就職支援金

障害分野に初めて転職する人に対する就職準備金の貸付け

申込 1 件、決定 1 件、累計 13 件

- オ 福祉系高校修学資金  
福祉系高校に在学する学生に対する修学資金の貸付け  
申込 7 件、決定 7 件、累計 17 件

**⑤ 保育支援貸付事業**

- ア 保育士修学資金  
保育士等養成施設に在学する学生に対する修学資金の貸付け  
申込 24 件、決定 23 件、累計 104 件  
内定制度（令和 6 年度入学者）申込 4 件、決定 4 件（うち辞退 1 件）
- イ 保育補助者雇上費  
保育士の業務負担を軽減するために保育補助者を雇上げる費用を貸付け  
申込 0 件、決定 0 件、累計 8 件
- ウ 保育料の一部貸与  
未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付け  
申込 11 件、決定 11 件、累計 77 件
- エ 潜在保育士就職準備金  
保育士として再就職する人に対する就職準備金の貸付け  
申込 20 件、決定 20 件、累計 160 件

**⑥ 児童養護施設退所者等貸付事業**

- 児童養護施設を退所し就職した者への家賃貸付け、進学者への家賃・生活費貸付け、資格取得希望者への取得費用貸付け
- ア 生活支援費貸与 申込 1 件、決定 1 件、累計 5 件
- イ 家賃支援費貸与 申込 2 件、決定 2 件、累計 6 件
- ウ 資格取得支援費貸与 申込 1 件、決定 1 件、累計 9 件

**取組項目 2 専門性を持った福祉人材の育成とキャリア形成支援**

**(1) 委員会等の開催**

- ① 富山県福祉カレッジ研修カリキュラム検討分科会 書面開催
- ② 富山県福祉カレッジ運営委員会 令和 6 年 3 月 21 日(木)

**(2) 福祉カレッジ研修事業の実施**

福祉人材の養成及び資質の向上を図るための研修を実施  
令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月まで 40 研修開催（延べ開催日数 140 日、受講者数 4,660 名）

- ① ソーシャルワーク・多職種連携研修  
令和 5 年 8 月～令和 6 年 2 月まで 3 研修開催（延べ開催日数 3 日、受講者数 112 名）  
（相談援助技術研修、実践的意思決定支援ファシリテーション研修など）
- ② ケアワーク研修  
令和 5 年 5 月～令和 6 年 3 月まで 7 研修開催（延べ開催日数 30 日、受講者数 970 名）  
（介護施設における安全対策担当者養成研修、介護・福祉従事者のための記録研修など）
- ③ 福祉サービス経営研修  
令和 5 年 5 月～令和 6 年 3 月まで 7 研修開催（延べ開催日数 13 日、受講者数 427 名）  
（福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程、社会福祉法人セミナーなど）

#### ④ 目的課題別研修

令和5年4月～令和6年3月まで23研修開催（延べ開催日数94日、受講者数3,151名）  
（強度行動障害支援者養成研修、乳幼児保育研修、介護支援専門員実務研修など）

### （3）介護支援専門員実務研修受講試験事業

#### 令和5年度富山県介護支援専門員実務研修受講試験の実施

試験実施日：令和5年10月8日（日）

試験会場：サンシップとやま、ゴルフアートとやま

出願者数628名、受験者数569名、合格者数125名（合格率22.0%）

## 取組項目3 ICT及び介護ロボットを含む福祉・介護機器の導入・活用支援

### （1）効果的な福祉・介護機器の活用支援

#### ① 福祉・介護機器の展示・相談、貸出、情報提供

ア 展示コーナーでの展示及び相談体制の整備

介護ロボット展示数：32点、来所者数：637名、相談件数：658件

イ 試用貸出の実施

介護ロボット貸出件数：40件、福祉用具貸出件数：18件

ウ ホームページ及び広報誌への掲載による情報提供

#### ② 福祉・介護機器の理解・活用促進に繋がる研修及びイベントの開催

ア 講座

i) 介護ロボット等体験講座Ⅰ 参加者：290名（18回）

ii) 介護ロボット等体験講座Ⅱ 参加者：433名（25回）

イ 介護ロボット等導入支援研修

i) 移乗編・移動編 参加者：20名

ii) 排泄編・見守り・コミュニケーション編 参加者：19名

iii) 実践・マネジメント編 参加者：41名

ウ 介護ロボット・福祉用具展示会 参加者：475名（3回）

#### ③ 住宅改修に関する相談

ア 所内相談の実施 相談件数：12件 昨年度比：13件減

イ 出張相談の実施 相談件数：7件 昨年度比：7件減

### （2）福祉・介護機器を活用した介護技術研修の実施と指導者の育成支援

#### ① 介護技術向上のための研修の実施

ア 新任職員介護技術実践サポート研修 参加者：174名（6回）

イ 新任職員指導者技術向上研修

i) 排泄編 参加者：24名

ii) 排泄技術編 参加者：21名

ウ 介護テクノロジー相談員養成研修 参加者：6名

#### ② 腰痛予防推進研修の実施

ア 腰痛予防研修 参加者：63名（2回）

イ 腰痛予防指導者育成研修

i) 基礎編 参加者：36名

ii) フォローアップ編 参加者：36名

- ウ リフトリーダー養成研修 参加者：26名（2回）
- エ 出前講座 参加者：35名（3施設・事業所）
- オ 腰痛予防対策推進福祉施設会議の開催

### （3）ICT及び福祉・介護機器の活用支援

- ① 最新情報の発信
- ② 伴走支援・成果報告会実施
  - ア 伴走支援（3施設・事業所）
  - イ 成果報告会
    - i) 業務アドバイザーによる伴走支援成果報告会  
令和5年11月27日（月） オンライン 参加者：50名
    - ii) 業務アドバイザーによる伴走支援成果報告会（居宅サービス分野編）  
令和6年3月4日（月） オンライン 参加者：15名
- ③ シンポジウムの開催・研修の実施
  - ア 介護テクノロジーを活用した先進的介護に関するシンポジウムの開催  
令和5年4月18日（火） サンシップとやま 参加者：143名  
講演Ⅰ「テクノロジーの活用等による介護現場の生産性向上の取組について」  
厚生労働省老健局高齢者支援課 課長 須藤 明彦 氏  
講演Ⅱ「県内における先進事例の発表」  
社会福祉法人宣長康久会 特別養護老人ホームささづ苑 施設長 岩井 広行 氏  
トークセッション「とやま介護テクノロジー普及・推進センターへの期待」  
富山県福祉カレッジ学長・公益財団法人テクノエイド協会 理事長 大橋 謙策 氏  
一般社団法人富山県介護福祉士会 会長 舟田 伸司 氏  
厚生労働省老健局高齢者支援課 課長 須藤 明彦 氏  
社会福祉法人宣長康久会 特別養護老人ホームささづ苑 施設長 岩井 広行 氏
  - イ 福祉現場におけるICT導入支援研修 参加者：32名

## 取組項目4 福祉サービス事業者への支援とサービスの質の向上

### （1）社会福祉法人等の自立的経営と経営基盤の強化

- ① 福祉施設経営指導の推進
  - ア 社会福祉施設経営相談（相談件数 72件）  
社会福祉施設経営相談室に専任及び兼任経営相談員2名、専門経営指導員（公認会計士、社会保険労務士、弁護士）3名を配置し、施設経営に対する指導・助言を実施
  - イ 「施設経営情報」の発行等による情報提供
  - ウ 福祉施設経営指導事業連絡協議会の開催  
（構成者：県厚生部5課、富山市福祉保健部、県経営協役員、経営指導員等）  
令和6年2月22日（金） 富山県民会館 出席者：20名  
協議事項・最近の福祉施策の動き
    - ・令和5年度指導監査実施状況について
    - ・令和5年度社会福祉施設経営指導事業の状況について
    - ・意見交換

## エ 研修・集団指導の実施

富山県社会福祉法人経営者協議会との連携による、労務管理、経理事務、法律問題等に関する研修機会の提供及び集団指導

### ・社会福祉法人労務管理研修

令和5年8月8日（火） 富山県総合福祉会館 参加者：41名

講義 ①適切な労務管理のポイント

②解雇をめぐる様々なトラブル

③労務管理に関するQ&A

### ・社会福祉法人経理事務研修

令和5年11月11日（水） 富山県総合福祉会館 参加者：71名

講義 ①会計基準及び経理事務の概要・会計処理上の留意事項等

②会計・経理事務に関するQ&A

### ・社会福祉法人法律問題研修

令和6年2月2日（金） 富山県総合福祉会館 参加者：21名

講義 ①事業主の義務となった

「パワハラ対策、セクハラ対策、マタハラ等対策」

— 事業主が必ず講じなければならない措置等 —

②法律問題に関するQ&A

## （2）富山県福祉施設支援資金の貸付及び償還管理

民間社会福祉施設を支援するため、整備費・運営費を貸付

貸付審査会の開催（4回）

貸付件数：9件

貸付額：76,800千円（令和5年度末貸付実績 27件、191,162千円）

## （3）福祉サービスに関する苦情解決のための取り組み強化

### ① 福祉サービス運営適正化委員会の開催

第1回 令和5年6月15日（木） サンシップとやま

### ② 日常生活自立支援事業の運営監視

ア 運営監視部会による現地調査の実施

令和5年7月19日（水）～7月27日（木） 対象：5市町村社協（魚津市、氷見市、滑川市、南砺市、舟橋村）

イ 運営監視部会の開催

令和5年9月5日（火） サンシップとやま

協議事項：実施状況、現地調査結果、現地調査報告

### ③ 福祉サービスに関する苦情解決事業の推進

ア 苦情解決部会の開催（年6回）

令和5年4月～令和6年3月 6回

内容：苦情解決に必要な助言、相談、調査を行い、苦情・相談受付件数：65件

イ 広報・啓発、巡回指導事業の実施

・ 県社協ホームページ、県社協広報誌「福祉とやま」への掲載、リーフレット1,000部、福祉事業所等における苦情解決の手引き等の配布による広報啓発

・ 苦情解決体制整備状況について、新規事業所及び苦情・相談のあった事業所64か所に確認した。

ウ 苦情解決責任者・苦情受付担当者・第三者委員を対象とした研修会の開催

- ・ 福祉サービス苦情解決研修会の開催

令和5年10月3日（火） 参加者：185名

講義①「苦情対応に求められる事業所の姿勢と苦情解決のあり方」

講義②「第三者委員の役割」

事例検討（個人ワーク）と解説

講師 駒澤大学文学部社会学科社会福祉学専攻 教授 川上 富雄 氏

#### （４）福祉サービス第三者評価事業の実施

##### ① 地域密着型サービスにかかる外部評価の実施

認知症対応型共同生活介護事業所 23件

##### ② 福祉サービスにかかる第三者評価の実施

社会的養護施設（児童養護施設） 2件

児童福祉施設（保育所） 5件

障害福祉施設（共同生活援助） 1件

##### ③ 福祉サービス評価・公表事業運営委員会の開催

令和5年5月～令和6年3月に5回開催

##### ④ 評価調査者の登録

登録者 28名（令和6年3月末日現在）

##### ⑤ 評価調査者連絡会の開催

令和5年8月1日（火） サンシップとやま 参加者：7名

内容「保育所職員アンケートの作成」

#### （５）利用者の福祉サービスの選択

介護サービス情報の公表事業の実施

- ・ 指定情報公表センターの運営

「令和5年度情報公表計画」に基づく報告・調査・公表事務

報告受理事業所 1,836件（令和5年10月～令和6年3月）

調査事業所 45件（令和5年11月～令和6年3月）

公表事業所 1,836件（令和5年10月～令和6年3月）

- ・ 新規事業所説明会の開催 2回

第1回 令和5年9月7日（木） サンシップとやま

第2回 令和6年1月29日（月）付 資料送付をもって代替

- ・ 公表事業運営委員会の開催

令和5年10月25日（水） サンシップとやま

令和6年3月12日（火） 富山県民会館

- ・ 指定調査機関の運営

調査対象事業所への訪問調査実施 15件

- ・ 調査員の登録

登録者 30名（令和6年3月末日現在）

## 【推進項目4】

### 地域福祉推進のための組織基盤の強化

#### 取組項目1 組織体制の強化

##### (1) 事務局体制の強化と職員の専門性や資質向上に向けた取り組みの推進

社協職員として必要な知識・技術の習得を図るため、外部研修へ参加及び通信教育講座を受講

- ・都道府県・指定都市社会福祉協議会中堅職員研修会 3名
- ・都道府県・指定都市社会福祉協議会管理職員研修会 2名
- ・通信教育講座（管理職基本コース） 2名
- ・社会福祉法人会計実務講座（初級コース） 1名

##### (2) 富山県社会福祉協議会強化発展計画（第5次活動推進計画）の推進

「富山県社会福祉協議会強化発展計画（計画の期間：令和4～8年度）」の推進にあたり、職員説明会の実施により組織内での意識づけを図るとともに、多様な主体との連携・協働を図るため、関係機関への周知・配付を行った。

また、同計画に基づき、組織内の情報共有と組織横断的な協議・検討の場を設けるため、4つのプロジェクトチームにおいて活動を行った。

###### ① 計画全体の推進に関するプロジェクトチーム

- ・プロジェクトチームメンバー：10名

###### ② テーマ別の課題に関するプロジェクトチーム

- 福祉課題研究プロジェクトチーム
  - ・プロジェクトチームメンバー：6名
- スキルアップ促進プロジェクトチーム
  - ・プロジェクトチームメンバー：6名
  - ・打ち合わせ会の開催：1回
- DX・ICT推進プロジェクトチーム
  - ・プロジェクトチームメンバー：8名
  - ・打ち合わせ会の開催：3回
  - ・関係セミナーへの参加：1回

##### (3) 組織全体として課題に対応するための企画立案機能の強化

組織横断的なメンバーによるプロジェクトチームにおいて、テーマ別の課題を協議・検討するとともに、組織全体で取り組むべき課題については、部課長会への提案を行った。（再掲）

##### (4) 会員施設・事業所、賛助会員の加入促進

令和6年3月末現在会員状況

正会員：1,088 施設・団体 賛助会員：134 団体・個人

##### (5) 指定管理者としての富山県総合福祉会館（サンシップとやま）の機能強化

- ① 施設の指定管理業務を富山県から受託
- ② 指定管理期間（第5期 1年目）：2023年4月1日～2026年3月31日（3年間）



③ 施設の利用状況

- ・ 研修室等利用率 34.66% (前年比-7.54%)
- ・ 利用料収入 26,607 千円 (前年比-11.59%)
- ・ 減免団体利用率 91.75% (前年比-0.56%)

**取組項目 2 経営・財政基盤の強化**

(1) 適正な業務執行体制の確立

① 役員会等の開催状況

会議名		開催日	主な審議事項
正副会長 会議	第1回	令和5年5月30日	・第3回理事会、第2回評議員会への提出議案等
	第2回	令和6年3月18日	・第6回理事会、第3回評議員会への提出議案等
理事会	第1回	書面	・専務理事の選定 ・評議員候補者の選定
	第2回	書面	・理事候補者の選定 ・評議員会の招集
	第3回	令和5年6月7日	・4年度事業報告・収支決算 ・第三者委員の選任 ・次期役員候補者の選定 等
	第4回	令和5年6月28日	・会長、副会長、専務理事の選定
	第5回	書面	・評議員会の招集
	第6回	令和6年3月26日	・5年度収支補正予算 ・6年度事業計画・収支予算 ・各種規程の一部改正 等
評議員会	第1回	書面	・理事の選任
	第2回	令和5年6月28日	・4年度事業報告・収支決算 ・任期満了に伴う次期役員を選任
	第3回	令和6年3月26日	・5年度収支補正予算 ・6年度事業計画・収支予算、 ・役員を選任
監事会		令和5年5月25日	・4年度業務執行状況及び財産状況の監査
評議員 選任・解任 委員会	第1回	書面	・評議員の選任

(2) 多様な民間財源・基金の活用と自主財源の確保

① 基金運営委員会の開催

- 令和6年3月6日(水) 富山県教育文化会館  
 報告事項 基金の積立・運用及び収益金の状況について  
 審議事項 令和6年度基金収益金の配分案について

② 研修受講料の徴収

③ 図書斡旋による手数料収入の確保

### 取組項目 3 情報収集と発信機能の強化

#### (1) 第 70 回富山県社会福祉大会の開催

地域福祉活動や募金活動の推進に尽力された個人及び団体を表彰するとともに、議事及び記念講演を行った（表彰状授与・感謝状贈呈 186 名、20 団体）。

令和 5 年 10 月 16 日 富山県民会館ホール

講師 社会学者・東京大学名誉教授・認定 NPO 法人ウィメンズアクションネットワーク (WAN) 理事長 上野 千鶴子 氏

#### (2) 福祉・生活課題の解決に向けた提言活動の推進

県福祉関係施策及び令和 6 年度県予算に関する要望書を令和 5 年 11 月 24 日に県・関係方面へ提出した。

#### (3) ウェブサイトや広報誌等の効果的活用による情報発信機能の強化

##### ① 県社協ホームページ活用事業

情報発信の仕組みとして安定的に運用され、より閲覧しやすく情報を得やすいウェブサイトとなるよう、ページの改訂等を随時行った。

##### ② 広報誌「福祉とやま」の発行及び編集会議の開催

- ・ 広報誌「福祉とやま」の発行 6 回（奇数月に各 3,000 部発行）
- ・ 広報誌編集会議の開催 令和 5 年 4 月 13 日（木）、10 月 13 日（金）

#### (4) 各種助成金情報の提供

福祉関連の助成金情報についてウェブサイトに掲載し、広く周知するとともに助成金の問い合わせがあれば随時紹介・案内を行った。

## 「令和6年能登半島地震」への対応状況等について

### 1 災害支援活動等について

令和6年1月1日の能登半島地震発生をうけ、富山県社会福祉協議会では、県の要請にもとづいて1月3日に富山県災害救援ボランティア本部を立ち上げ、県内外のボランティア情報の収集に努めるとともに、次のとおりの支援活動等を実施しています。

#### (1) 県内外の災害ボランティアセンターへの支援

市町村社協とともに、高岡市災害ボランティアセンター、氷見市災害ボランティア・支えあいセンター、輪島市災害たすけあいセンター（石川県）に応援職員を派遣  
(令和6年1月6日～4月30日：延べ282名派遣)

#### (2) 富山DWA Tのチーム員派遣

①1月12日（金）～31日（水）・2月1日（木）～16日（金）

石川県七尾市立中島小学校内 一般避難所 常駐

②3月1日（金）～16日（土）

石川県七尾市内一般避難所（能登島生涯学習センター等）巡回

(①、②あわせて4日間×3名×13クール 計39名派遣)

#### (3) 生活福祉資金（緊急小口資金）の特例貸付の実施

令和6年能登半島地震で被災し、緊急・一時的な生活費を必要とする世帯に対し、緊急小口資金の特例貸付を実施（令和6年1月22日～令和6年4月30日 123件、16,350,000円）

### 2 富山県総合福祉会館（サンシップとやま）の被災状況と対応等について

#### (1) 被災状況

三角屋根部分のガラス破損・落下、屋根の鋼材部分の損傷、エレベーター（扉ガラス等）の損傷、4～7階研修室のドアの歪み 等

#### (2) 影響（対応内容）

##### ①臨時休館対応

地震による被災状況の確認ならびに安全確保のための応急処置や点検、館内に飛散したガラス片の撤去や立ち入り禁止区画の設定を行うため、1月末まで臨時休館とした。

##### ②福祉ホール・県民サロンならびに4階以上の研修室の貸出中止

割れたガラスの落下の危険性があること等から、1階福祉ホールと研修室の貸出を中止とし、上層階の難病相談・支援センター、がん総合相談支援センターについては、2階福祉図書館に事務室を移転した。

##### ③エレベーターの故障・不通

エレベーターの各階入り口ドアの破損、ガラス破片のワイヤーへの巻き込み等の危険があることから、当面の間、エレベーター利用を中止している。

#### (3) 復旧に向けての対応状況

- ・県により、2月末までに、外壁（ガラス）破損部分等の応急修繕完了。
- ・県においては、①損傷調査や②エレベーター工事に着手することとしており、当会としても県、施工業者・設計関係者との打ち合わせ、調査への支援を行っている。

## 令和5年度事業報告附属明細書

令和5年度事業報告には、社会福祉法施行規則第2条の2第5第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。